

令和6年度 第2回渋川市総合教育会議

部活動の地域移行について

教育部学校教育課 部活動地域移行推進室
令和6年1月25日(木)

1

1、背景とこれまでの国や県の動向

2

急激に進む少子化・人口減少

渋川市に限らず全国・県でも子どもたちの人口減少は進んでいる。

渋川市でもこの10年間で生徒数約30%減少。
さらに今後10年間で約25%の減少が見込まれる。

○学校部活動はこれまでに70年を超える長い歴史
・生徒数の減少及び部活動参加率の減少

○2020年(令和2年)9月、
「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」
文部科学省

○2022年(令和4年)12月、
「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

スポーツ庁・文化庁

○2023年(令和5年2月)

群馬県部活動運営の在り方について【提言R5】

群馬県部活動の在り方検討委員会 別添資料1

○2023年(令和5年7月)

群馬県学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動 への移行に向けた推進計画(概要)

群馬県教育委員会 別添資料2

2、本市の部活動地域移行について 【本年度の活動内容と推進状況について】

・部活動の地域移行にかかる、年次推進計画(案)の作成。別添資料3

・児童生徒や保護者へのアンケート実施。
別添資料4

対象：小学校5・6年生、中学校1・2年生及びその保護者

・群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業(実証事業)に参加。別添資料5

3、今後に向けて

- ・ 児童生徒(学校)・保護者へ向けての情報発信
【リーフレットの作成・配布】 別添資料6
- ・ 令和6年度部活動地域移行推進委員会の立ち上げ

4、部活動の地域連携・地域移行に向けて【まとめ】 別添資料7